

ARIM × Claude Coworkで体験する AI for Science 実践コード解剖編

～SPring-8 BL14B1(QST専用ビームライン)の
高温高压EDXRDデータとClaude Code (Fable 5)
が生成したPythonコードの科学的妥当性を
検証する「大盤解説」～

写真提供: 理化学研究所

量子ビームが拓く新しい材料科学の未来

講師



松波 成行 氏

物質・材料研究機構(NIMS)
ARIMセンターハブ長

齋藤 寛之 氏

量子科学技術研究開発機構(QST)
放射光科学研究センターグループリーダー

島田 歩 氏

量子科学技術研究開発機構(QST)
放射光科学研究センター



日時

2026年10月1日(木) 13:30～17:30



場所

<https://www.hit-u.ac.jp/hall/>

一橋講堂 中会議場3&4

オンサイトのみ



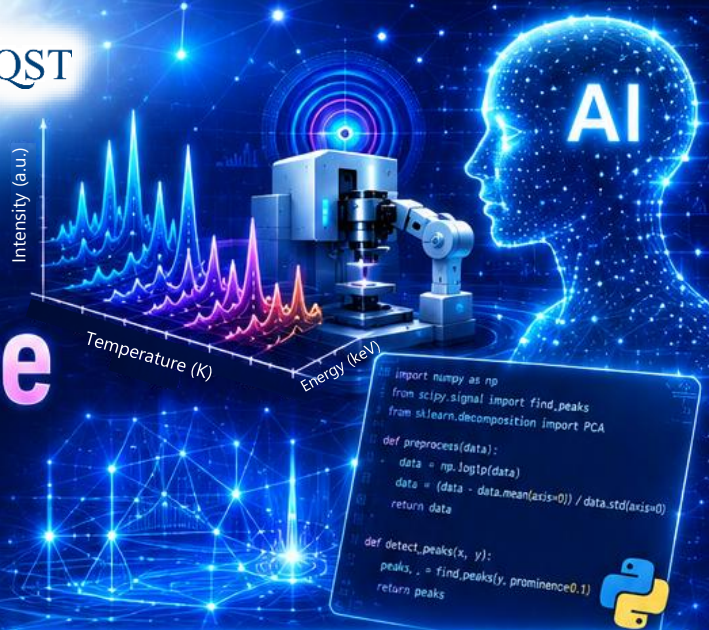
定員

100名(ARIMデータポータル会員に限る)



主催

ARIM/NIMS/QST



カリキュラム

時間	形式	セッション名・内容	登壇者(予定)
13:30～ 14:05 (35分)	講義 質疑	Agent Skillsの データハンドリング(復習) ・AIEージェントにおける Agent Skillsの活用の要点(25分) ・質疑応答(10分)	松波 (NIMS)
14:05～ 14:45 (40分)	講義 質疑	SPring-8 BL14B1と高温高压XRD ・SPring-8 BL14B1(QST専用ビームライン) の特徴と高温高压XRDとは(15分) ・データ処理の実施例～解析例(15分) ・質疑応答(10分)	齋藤 (QST)
14:45～ 15:00 (15分)	—	休憩(15分)	—
15:00～ 17:00 (120分)	パネル・ 対談解説	① コード1: EDA (探索的データ解析) 15:00～15:30 (30分) ② コード2: 信号処理 15:30～16:00 (30分) ③ コード3: 機械学習 16:00～16:30 (30分) ④ コード4: データサマリー 16:30～17:00 (30分)	司会: 松波 (NIMS) 解説: 齋藤 (QST) 島田 (QST)
17:00～ 17:30 (30分)	全体質疑	総括・全体質疑応答 ・本日のまとめ、 今後のARIM×AI活用の展望について	全員
17:30	—	クロージング・閉会	松波 (NIMS)

※プログラムは変更となる可能性があります。



申込

下記URLまたは右のQRコードよりお申込みください。

<https://forms.cloud.microsoft/r/xKbAGS6Kma>

申込締切

9/25(金)

先着100名



本セミナーの特徴



AI×材料科学の 最前線を体験

生成AIが自立生成した
Python コードの科学的
妥当性を専門家とともに
検証できます。



専門家との 大盤解説スタイル

対話形式でコードを
1行ずつ読み解き、
理解を深められる
ワークショップです。



SPring-8の EDXRDデータ活用

高温高压EDXRDのIn-
situデータの膨大かつ複
雑なデータの活用例を通
してその高い価値を学ぶ。



実践的スキルを習得

AIコーディングの信頼性
を見極める着眼点や指示
だし(スキル定義)のノウ
ハウを共有します。